

校長室だより

(川内中学校／R7.5.27)

～ 学びあい・支えあい・笑顔で・未来に向かって挑戦！～

【Study Support Smile 3S チャレンジ！】

H20 「Homete (ほめて) ・ Hagemashi (励まし) ・ Otagaini (お互いに)」

02 「Omoi (思いを) ・ 2 (伝えあう)」／対話力・コミュニケーション力 向上

【学校教育目標： 一人ひとりを大切に 未来に向かって生き抜く力を身につけた生徒の育成】

川内中 3S チャレンジ！／ファシリテーションスキル模擬授業&研修／ O2(思いを伝えあう)

【講師先生による模擬授業／1年・2年】



【ファシリテーションとは？】



【担任〇×クイズで絆アップ】

5月27日(火)、鳴門教育大学の濱田雅子先生・谷真紀子先生ご指導のもと、1年・2年の各クラスでファシリテーションスキル模擬授業をしていただきました。

ファシリテーションとは、一人ひとりの意見を生かし、みんなが納得できる意見にまとめたり、課題解決を進める話しあい技術のことです。

1・2年生は「質問の技カード」を元に、ペアで思いを伝えあい、聴きあい、ホワイトボードに記入しあいながら、ファシリテーター(進行役)として大切なことについて学びあいました。

【オープンクエスチョンに挑戦！】 【質問の技カード】

「～というത്？」 「どんな感じ？」 「もう少し詳しく教えて？」 「エピソードを教えて？」 ..など

【「発散(自由に発言)」→「収束(意見の構造化)」→「活用(具体的な行動へ)」】



【発散】＝自由に発言→【見える化】＝ホワイトボードに記入→【収束】＝意見を色分け→【活用】＝具体的な行動へ
「最近頑張っていることは？」 ➡ 「聴いたことをそのまま書く」 ➡ 「よかったこと・困っていることは？」 ➡ 「紹介」
「これからどうしたい？」

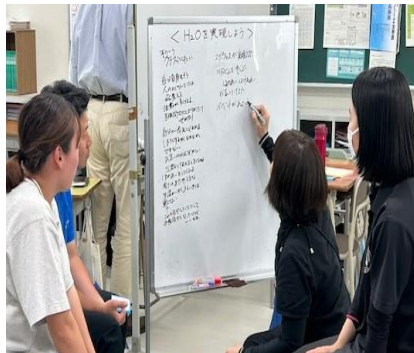
【あいづち】 うんうん・なるほど・わかる・そうなんだ・へえ・そっか

【関心をもって好意的に思いを聞いてくれる経験＝安心して話せる場】

「思いを伝えられた～聴いてもらえた～」 そんな経験をした子どもたちの顔は笑顔いっぱい！

温かいクラスの輪が広がり、お互いのことを理解しあえる時間となりました。

【可視化＝「見える化」「聞こえる化」で思いが集約→整理される流れを体感】

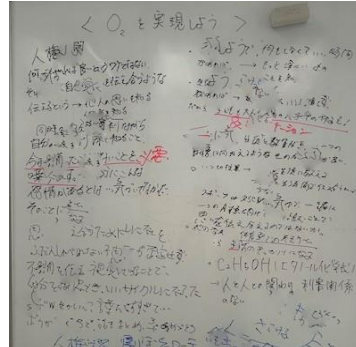
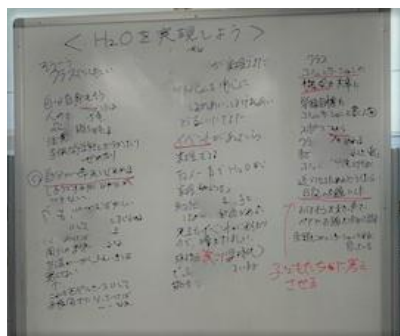


講師先生による模擬授業を参観した後、教職員は職員研修を行い、「ファシリテーションスキル」を学びました。

今年度のスローガン「H2O と O2 を実現するために大切なこと」について思いを出しあいました。グループで、「質問の技カード」にそって聴きあい、うなずいて微笑みながらホワイトボードに記入する。温かい雰囲気の中で傾聴してもらうことで自然に言葉がでてきます。またホワイトボードに記入してもらった自分の言葉を見て、また新しい気づきがあるという体験をしました。

先生方は、日々の授業や学校生活の中で「H2O(お互いに良いところをほめあう・励ましあう)そんな言葉や行動がいっぱいあふれる学校にするために…」

「O2(思いを伝えあえる)人間関係を大切にするために…」子どもたちの、そして教師自身の対話力向上をめざし、先生方自身が思いを伝えあう貴重な時間となりました。



【若手教員のニーズや課題等、O2(思いを伝えあい)→ 可視化 → 実践化に向け企画】

【タートルズ研修(メンター制研修を企画しよう)】



職員研修の後、若手教職員対象に、タートルズ研修を行いました。鳴門教育大学の谷先生が自身の経験を振り返りながら、若手時代の悩みをお話くださいました。

その後、若手教職員は、日頃の悩みや課題等、思いを伝えあいました。ホワイトボードには、各自の思いがあふれ、「見える化・聞こえる化」で、新たな気づきが生まれ、課題解決や実践化に向けての思いを確認しあいました。

